

## 小児がんの治癒研究開発支援 2016年

- ◆ヒト多能性幹細胞を用いた小児がん疾患モデルの作成  
代表研究者 京都府立医科大学大学院医学研究科 柳生 茂希 先生
  
- ◆次世代シーケンサーを用いた再発白血病の分子標的の同定と新規分子標的療法の開発  
代表研究者 岡山大学病院小児科 嶋田 明 先生
  
- ◆神経芽腫に対する、より安全な自己消去型のレンチウイルスベクターを使った遺伝子治療法の開発  
研究代表者 長崎大学医学部研究高度化支援室 林 日出喜 先生
  
- ◆メダカ胚をモデルとした小児がん脳腫瘍放射線照射に伴う脳内免疫細胞ミクログリアの応答解明  
研究代表者 東京大学大学院新領域創成科学研究科 保田 隆子 先生
  
- ◆転移性ユーイング肉腫ファミリー腫瘍に対する集学的治療法の開発  
研究代表者 岡山大学医学部整形外科 尾崎 敏文 先生
  
- ◆幼若期におけるがん細胞の増殖を *in vivo* で効果的に抑制する医薬成分の探索  
研究代表者 北里大学北里生命科学研究所 竹本 大策 先生
  
- ◆難治性横紋筋肉腫に対するキメラ抗原受容体T細胞療法の開発  
研究代表者 信州大学医学部小児医学教室 中沢 洋三 先生
  
- ◆小児がん臨床研究推進  
研究代表者 NPO 法人日本小児がん研究グループ(JCCG)  
水谷 修紀 先生
  
- ◆TSSCGスカラシップ  
奨学金受給者 国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究野 福岡 講平 先生  
研究課題 小児頭蓋内神経膠腫のゲノム、エピゲノム解析とその臨床病理学的意義の解明  
留学先 The Hospital for Sick Children (Toronto)

以 上